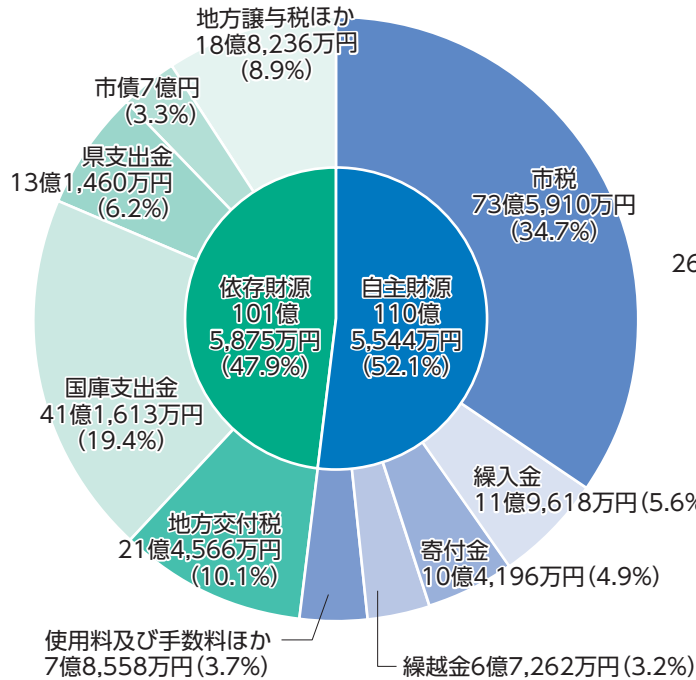


令和6年度 決算のまとめ

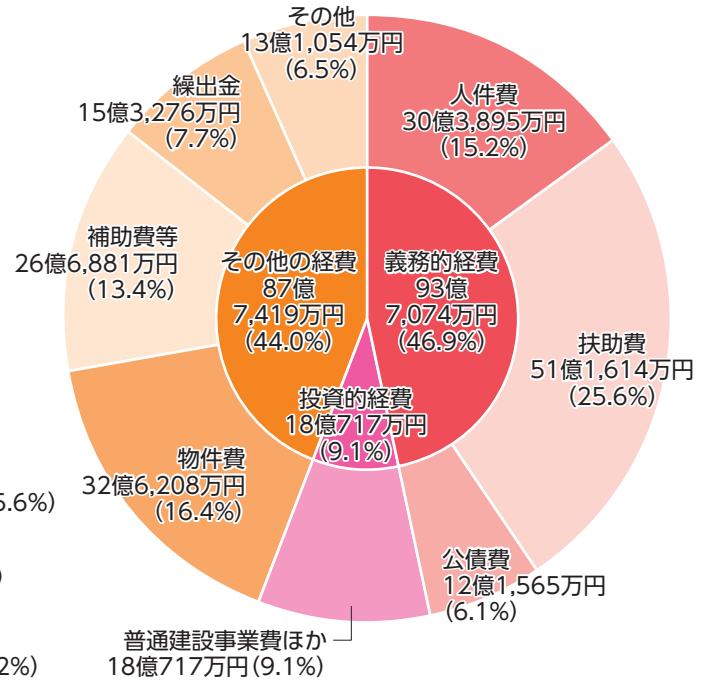
市では、市民の皆さんからいただいた税金をはじめ、地方交付税、国庫支出金、寄付金などを財源として、住みよいまちづくりを進めています。令和6年度にお金がどのように使われたのか、一般会計を中心にお知らせします。

※歳入・歳出のグラフ内の金額は1万円未満を四捨五入しています。

歳入 212億1,419万円



歳出 (性質別) 199億5,210万円



歳入総額212億1,419万円 ▶前年度から約14億円の増

歳入は、ふるさと納税や市税収入の確保に努めたほか、物価高騰対策関連の国庫支出金が増加した結果、前年度比13億9,888万円の増となりました。

- 市税 73億5,910万円
 - ▶前年度から388万円の減
 - ▶国の施策である定額減税による市税減少額 約2億円
 - ※同額が国から交付金として補てんされています。
- ふるさと納税 9億1,547万円
 - ▶前年度から3億1,347万円の増
- 地方交付税 21億4,566万円
 - ▶前年度から1億6,735万円の増
- 国庫支出金 41億1,613万円
 - ▶前年度から4億8,186万円の増

歳出総額199億5,210万円 ▶前年度から約13.5億円の増

歳出は、物価高騰対策事業や各種公共施設の長寿命化改修事業を行ったほか、ふるさと納税の増に伴う関連経費の増加などにより、前年度比13億4,942万円の増となりました。

- 岩沼西小学校長寿命化改修事業 2億8,754万円
- ふるさと納税関連経費（返礼品など）4億3,269万円
- 主な物価高騰対策事業（給付金関係）**
 - 令和6年度物価高騰緊急支援給付金および定額減税しきれなかった方に対する調整給付事業 4億5,465万円
 - 物価高騰の影響が特に大きい住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金給付事業 1億634万円

一般会計の市債（借金）と基金（貯金）

未来を担う子ども世代に大きな負担を残さないように市債残高の圧縮や貯金である基金の確保に努めました。

- 市債残高 108億8,843万円
 - ▶前年度から約4.8億円の減
- 基金残高 108億1,628万円
 - ▶前年度から約2.9億円の増

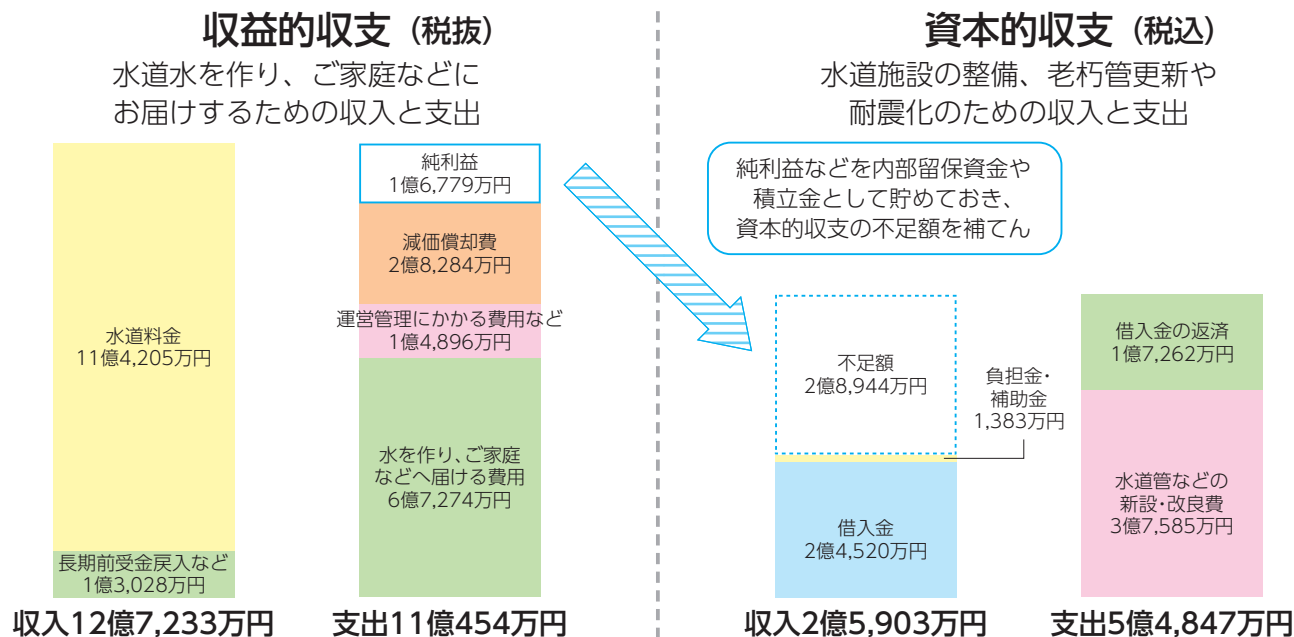
特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	40億6,398万円	40億1,803万円
後期高齢者医療	6億2,911万円	6億2,056万円
介護保険事業	42億9,948万円	40億4,201万円
矢野目西地区土地区画整理事業	1億4,529万円	1億4,001万円

特別会計：国民健康保険や介護保険など、特定収入（保険料など）を財源とする会計

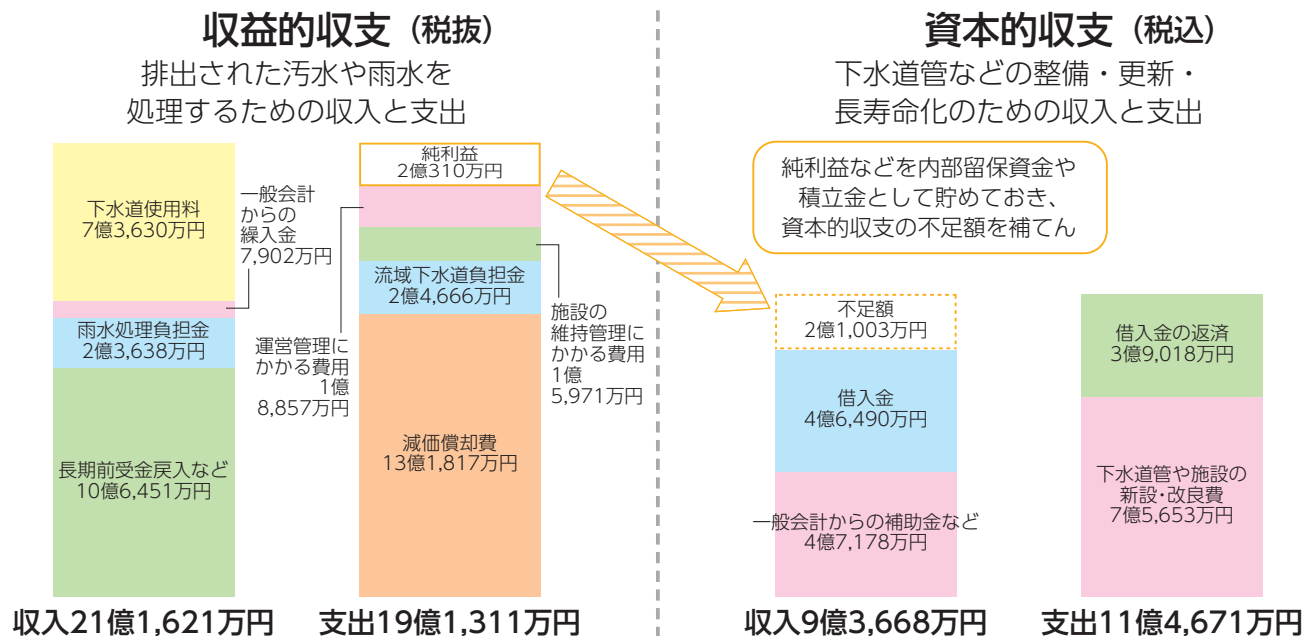
水道事業

令和6年度の水道事業は、19,114戸の世帯などへ5,317,173立方メートルの水を供給しました。建設工事に関しては、平等団地地内配水管改良工事などの老朽管を耐震管へ更新する工事を行い、水道施設の整備拡充に努めています。



下水道事業

令和6年度の下水道事業は、18,209戸の世帯などから排出された汚水4,801,952立方メートルを処理しました。建設工事に関しては、二野倉雨水幹線工事やマンホールふたの改良工事を行い、施設の健全化や浸水対策などに努めています。



POINT！

上下水道は市が経営する**公営企業**として、料金収入などをもとに独立した会計で運営しています。公営企業では、日々の経営を表す**収益的収支**と、将来に向けた投資を表す**資本的収支**に分けてお金の流れを整理しています。

収益的収支では「日々の経営が成り立っているか」を見ることができ、こちらは上下水道ともに純利益（黒字）となっています。

資本的収支では「設備投資をどれくらいしているか・その資金をどう賄っているか」を見ることができます。資本的収支は支出が収入より多くなるのが一般的なので、純利益や貯金（積立金）で補てんします。